

2027年6月期事業計画書

(対象期間：2026年7月1日から2027年6月30日まで)

今期も、助成事業のバランスに配慮しつつ、「研究費の助成」部門では推薦候補者のさらなる増加を図る。応募申請が増加傾向にある「科学教育の普及・啓発助成」については、応募方法および審査方法の見直しを進め、効果的な運用を図る。また、「科学教育の普及・啓発助成」事業の一環として行っている諸活動については、書籍刊行費用の支援により、「目指せ！科学者」シリーズの続巻の発刊を支援するとともに、読書感想文コンクールについては、科学教育の普及・啓発助成を受けている団体等の支援・協力を得ながら対象地域を段階的に拡大し、第5回を実施する。あわせて、推薦図書セットの寄贈を進め、理科好きな青少年の育成に取り組んでいくものとする。

さらに、助成登録に係るホームページのシステム構築が概ね完了したことを踏まえ、助成者の利便性向上および選考・審査業務への活用改善を主眼として、運用面を中心とした機能改修・改善を進める。加えて、2027年5月に迎える財団創立40周年にあたり、記念事業（記念式典等）を実施するとともに、「令和6年改正公益認定法」および「令和6年公益法人会計基準・運用方針」の趣旨並びに改正内容を十分に踏まえ、引き続き必要な体制整備等について漏れのないよう段階的かつ着実に取り組んでいく。

1. 助成&表彰事業

(1) 「研究費の助成」事業

- (i) 助成対象：化学の領域における基礎研究または応用研究であって、先駆的かつ独創的で、わが国の科学技術の振興に貢献することが十分期待され得るもの
- (ii) 助成金額：原則1件150万円（設備備品費、消耗品費、国内旅費等）までを限度とする。
- (iii) 推薦：候補者は、本財団役員及び評議員、またはこの法人で適当と認めた化学系学会等の推薦による

(2) 「国際交流助成」事業

- (i) 助成対象：化学の領域において、次の国際交流に貢献することが期待されるもの
 - ① 海外における国際研究集会への出席、または主催者側から必要と認められ招聘される者（ただし、国公費による出張者を除く）
 - ② 国内で行われる国際研究集会
 - ③ 国外で行われる国際研究集会
- (ii) 助成金額：
 - ① の場合：1件30万円（渡航運賃、参加費）までを限度とする
 - ② の場合：1件50万円（会場費、印刷費、国内滞在費等）までを限度とする
 - ③ の場合：1件50万円（会場賃料、印刷費、招聘費）までを限度とする
- (iii) 推薦：「研究費の助成」の場合と同じ

(3) 「研究交流促進助成」事業

- (i) 助成対象： 産業・経済の発展に貢献することが期待される科学技術に関し、産学官等の研究交流促進が図れるもの
- (ii) 助成金額： 1件100万円（会議開催費、講師招聘費用等）までを限度とする
- (iii) 募 集： 原則公募による

(4) 「科学教育の普及・啓発助成」事業

I. 科学教育の普及・啓発活動支援のための活動費支援

- (i) 助成対象： 科学技術や理科に興味を持った青少年を育成することを目的として、科学教育の普及・啓発が期待されるもの
- (ii) 助成金額： 1件当たり原則として上限30万円（会議費、印刷費、教材費、備品費、旅費、講師料等）とする
- (iii) 募 集： 原則公募による

II. 科学技術の普及・啓発活動団体の表彰

- (i) 表彰対象： 「科学教育の普及・啓発助成」選考委員会・選考部会にて採択された団体の中から特に素晴らしい活動を行っている団体
- (ii) 表彰内容： 優秀活動賞数件、賞状ならびに副賞（60万円）
活動奨励賞数件、賞状ならびに副賞（30万円）

III. 科学教育の普及・啓発活動支援のための活動成果などをまとめた書籍刊行支援

IV. 科学教育の普及・啓発活動支援のための公的施設などへの推薦図書セット寄贈

V. 読書感想文コンクール

- (i) 助成対象： 科学教育の普及・啓発の促進を目的とし、推薦図書を読んでもくれた小学生を対象とし実施
- (ii) 表彰内容： 最優秀賞（藤嶋 昭賞含む）、優秀賞、奨励賞他複数件：賞状ならびに副賞
- (iii) 募 集： 第5回として川崎市内に在学・在住の小学生を対象として募集するほか、科学教育の普及・啓発助成団体を通じ、段階的に全国の小学生にも募集を呼びかける。

(5) 表彰事業

I. 向井賞の表彰事業

- (i) 表彰対象： 科学技術の振興に関する特に優れた研究業績
- (ii) 表彰内容： 2件（賞状ならびに賞牌、副賞200万円）
- (iii) 推 薦： 本財団役員及び評議員、または、この法人で適当と認めたものによる

II. 向井記念科学講演会の開催

科学技術の振興に貢献することを目的とし、向井賞受賞者の講演を中心に前年研究助成対象者の成果発表の講演会を開催

2. 40周年記念事業

- (1) 「40周年記念講演」の開催
- (2) 40周年史の発刊

3. 事業運営のため、次の各種集会を行う。

- (1) 理事会の開催
- (2) 評議員会の開催
- (3) 助成事業選考委員会及び選考部会並びに読書感想文コンクール選考委員会の開催
- (4) 企画・運営会議等を随時開催
- (5) 表彰・贈呈式の開催（2026年10月、2027年2月および5月に開催）
（向井賞表彰、各助成贈呈、団体表彰、読書感想文コンクール表彰、成果発表会）
- (6) 科学講演会の開催

4. 資金調達および設備投資の見込み

- (1) 資金調達の見込み
今期中における借入れの予定はありません。
- (2) 設備投資の見込み
今期中における重要な設備投資（除却および売却を含む）の予定はありません。

以上